

# ふれあい情報

2021年 7月21日(水) 第330号

■発行 日本退職者連合  
 ■発行人 野田那智子  
 ■連絡先 〒101-0062  
 東京都千代田区神田駿河台

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

## — 退職者連合 第25回定期総会 —

**コロナ禍が浮き彫りにした社会の歪を是正し  
 来る総選挙に勝利して  
 誰もが自由に生き方を選べる社会を作ろう！**



あいさつする人見会長

退職者連合は、7月15日、連合会館の大会議室において第25回定期総会を開きました。

今回の総会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、実際にご出席いただく代議員数を絞らざるを得ませんでした。全国にライブ配信を行い、情勢や課題について情報の共有化をはかりました。

人見一夫会長 あいさつ

国際協力の下、一刻も早いコロナの抑え込みを

新型コロナウイルスについて、日本はアジアの中でも非常に多くの感染者を出しています。

この原因は、政府によるワクチン確保の遅れと、それに伴う接種の遅れです。保健所の統廃合など公衆衛生体制の弱体化の結果でもあります。また、十分な補償がない中で、飲食業界などは経営危機に陥っています。非正規で働く人たちの雇用・生活も大変厳しい状況にあります。

政権運営の失敗によるものであり、菅総理の責任は重大です。

第5波の感染拡大が広がる中、政府は東京オリンピック、パラリンピックを強行しようとしています。政府には、国民の命が一番大事だということを肝に銘じてほしい。

先進国がワクチンを独占してはいけません。一国のみで感染を抑えることはできないのです。コバックスなど国際協力の元、一刻も早い抑え込みを目指していくべきだと考えます。

地域で安心して暮らせる

社会保障制度を

6月に出された骨太方針2021では、社会保障費の抑制を打ち出しています。年金や医療・介護、子育て等の課題は、退職者連合の大きな課題であり、同時に国民の課題でもあります。全国的な議論が必要です。負担と給付をどのようにするのが問われています。

ベーシックサービスは公的な負担で担っていくべきです。憲法が保障している健康で文化的な生活ができることが求められています。退職者連合は、地域で豊かに安心して暮らせるよう社会保障制度改革に取り組んでまいります。

### 自然災害や地球温暖化

東日本大震災、福島の事故から10年が経ちました。最近でも、熱海市伊豆山で大規模土石流が起きました。被災された皆さんには心からのお見舞いを申し上げます。

毎年のように発生する自然災害には、地球温暖化の影響が指摘されています。脱炭素について、一人一人が積極的に取り組む必要があります。福島の原発事故の原因は未だ説明されていません。(裏面下段へ続く)

総会では、「来賓の逢見連合会長代行、枝野立憲民主党代表、玉木国民民主党代表、福島社民党党首から」祝辞をいただきました。  
 20年度の活動報告、決算報告、21年度の運動方針案、予算案、政策制度要求案、規約改正（総会が開けない場合の対応など）と役員改選が提案され、それぞれ討議の後承認されました。

**「来賓のみならずか」  
「祝辞をいただきました」**

**連合会長代行 逢見直人さん**



コロナ禍で仕事を失った人はすでに11万人を超え、弱い立場にある人ほど困難な状況に

あります。従前からの課題である人口減少、超少子高齢化や、地方の疲弊なども引き続いていきます。連合ビジョンに基づき、政策力、行動力、発信力に一層磨きをかけてまいります。

連合の調査では、社会運動への参加志向は、10代がもともとも高いという結果が出ています。若い世代は無関心ではありません。

今年10月までに行われる衆議院選挙では、現政権に対峙する、もう一つの選択肢を多くの有権者が望んでいいます。立憲民主党、国民民主党と十分に連携し、推薦候補者全員の必勝に向けて、組織一丸となって取り組んでまいります。

**立憲民主党代表 枝野幸男さん**



来年は内閣総理大臣としてこの場に立たせていただきたい。

今の危機は、改革の名のもとに医療など守るべきものを大幅に縮小してきた結果です。思いを同じくする皆さまと

**国民民主党代表 玉木雄一郎さん**



飲食店に、金融機関を使って脅しをかけるなどあり得ません。今日、このあと連合で政策協定を結びます。まともな当たり前を作るために、各地域で力をあわせてがんばりましょう。

**社会民主党党首 福島みずほさん**



監視と排除と弾圧の政治を変えたいと思っています。新自由主義から社会民主主義への転換が是非とも必要です。一緒にがんばりましょう。

**会場での発言から**

**長崎 上田順一さん**

組織拡大については、地方で担う分野と、本部でやることがある。長崎では、連合長崎も含め相談している。単会に調査票を送り、どう切り口でやっていくかを検討している。中央は、退連に入っていない産別対策に力を入れるべきである。

また、教宣活動の交流などもやってほしい。各地方で作っている教宣紙を持ち寄って交流するとか、プロを呼んで紙面づくり講習をするとか、そういう機会を作ってほしい。

**退女教 朝倉泰子さん**

総会に参加すると男性ばかりで、女性がいらないことを実感していた。ジェンダー平等が方針の柱に位置付けられたのはすばらしい。

「性、ライフスタイルに中立」には多くの問題が含まれる。例えば、第3号被保険者の問題。専業主婦と働く女を分断しているのは法制制度の方である。一方には男性の育休を認めないという問題もある。

LGBTに対する差別は、日本では理解が進んでいない。回りで暮らしている人の中にLGBTの人が沢山いるということに気付くべきだ。

(表面から続く)

原発の解体作業は今後40年以上かかるといわれています。汚染水の海洋投棄が計画されています。風評被害が予想される中、地元の理解が得られないまま放出することは許されません。原発事故や自然災害で避難所暮らしをしている被災者は数万人に及びます。すべての被災者が以前の暮らしを取り戻せるまで、取り組んでまいります。

**総選挙で菅政権を退陣させよう  
連合推薦候補の必勝を！**

この秋までに解散総選挙が予定されています。核兵器禁止条約がこの1月に発効しましたが、唯一の被爆国である日本の政府は批准していません。また、沖縄の辺野古新基地建設に反対する県民の民意を無視し、基地建設に突き進んでいます。

平和と民主主義をないがしろにする菅政権を退陣に追い込む絶好の機会が間近に迫っています。それが今年度の総選挙であります。

安倍政権を継承する菅政権は、汚職と疑惑も継承しています。国民の信を失った政権は退陣するしかありません。連合が推薦するすべての候補者の必勝を目指して、がんばりましょう。政治の流れを変えましょう。政権交代を実現しましょう。